

野村外国債券アクティブファンド (確定拠出年金向け)

運用報告書(全体版)

第10期（決算日2017年11月15日）

作成対象期間（2016年11月16日～2017年11月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2008年7月16日以降、無期限とします。	
運 用 方 針	日本を除く世界の高格付けの債券を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目標として積極的な運用を行います。実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主 な 投 資 対 象	野村外国債券 アクティブファンド (確定拠出年金向け)	海外アクティブ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債等に直接投資する場合があります。
	海外アクティブ債券 マザーファンド	日本を除く世界の高格付けの債券を主要投資対象とします。
主 な 投 資 制 限	野村外国債券 アクティブファンド (確定拠出年金向け)	外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	海外アクティブ債券 マザーファンド	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		ベンチマーク		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 期 騰 落 率		期 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
6期(2013年11月15日)	10,869	10	26.1	111.18	26.8	95.7	4.5	270
7期(2014年11月17日)	13,113	10	20.7	132.46	19.1	95.2	△9.1	396
8期(2015年11月16日)	13,146	10	0.3	133.01	0.4	86.0	△5.4	433
9期(2016年11月15日)	11,645	10	△11.3	118.80	△10.7	87.8	△2.3	417
10期(2017年11月15日)	12,909	10	10.9	131.36	10.6	94.3	△2.7	502

* 基準価額の騰落率は分配金込み。
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

○ベンチマーク（＝シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース））は、基準価額への反映を考慮して、日本の営業日
前日の指数値をもとに、設定時を100として再指数化しています。
* シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した日本を除く世界主要国の国債の総
合投資収益を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックス（為替ヘッジを行なわない円ベースの指数）です。
シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、
利用など指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。
(出所) Citigroup Index LLC

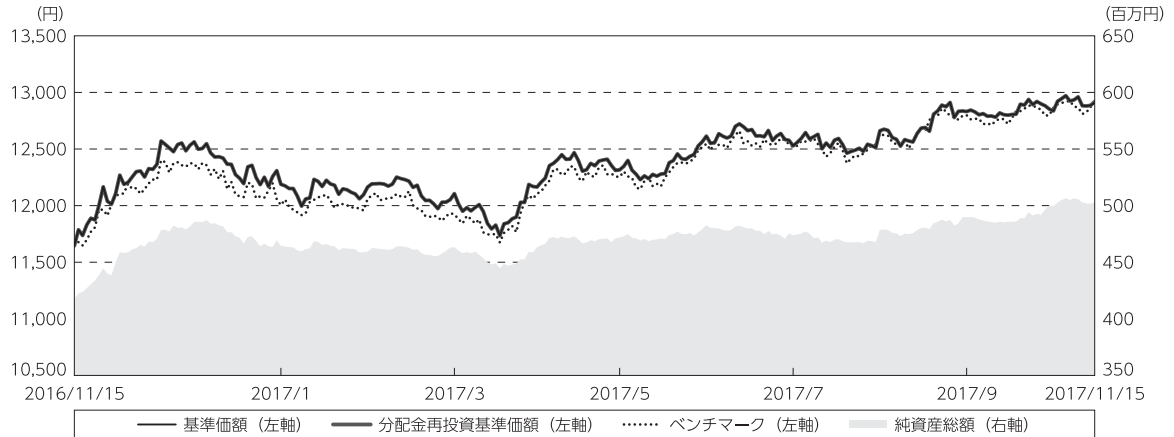
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		ベンチマーク		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落	率	騰 落	率		
(期 首)	円		%		%	%	%
2016年11月15日	11,645	—	—	118.80	—	87.8	△ 2.3
11月末	12,107	4.0		123.34	3.8	88.6	△ 2.3
12月末	12,505	7.4		126.26	6.3	83.7	△ 1.8
2017年 1 月末	12,188	4.7		122.46	3.1	85.0	△ 2.0
2 月末	12,096	3.9		121.99	2.7	82.8	△ 1.9
3 月末	12,106	4.0		121.63	2.4	84.4	△ 1.9
4 月末	12,164	4.5		123.50	4.0	91.3	△ 2.0
5 月末	12,316	5.8		125.00	5.2	89.9	△ 2.2
6 月末	12,550	7.8		127.43	7.3	90.5	△ 2.4
7 月末	12,528	7.6		127.68	7.5	90.9	△ 2.7
8 月末	12,675	8.8		128.74	8.4	89.2	△ 4.1
9 月末	12,831	10.2		130.56	9.9	88.8	△12.5
10 月末	12,836	10.2		131.23	10.5	92.1	△ 1.0
(期 末)							
2017年11月15日	12,919	10.9		131.36	10.6	94.3	△ 2.7

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：11,645円

期 末：12,909円（既払分配金（税込み）：10円）

騰落率： 10.9%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2016年11月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）ベンチマークは、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）です。ベンチマークは、作成期首（2016年11月15日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の11,645円から期末には12,909円（分配後）となりました。なお、当期は10円の分配金をお支払いしましたので、分配金を考慮した値上がり額は1,274円となりました。

（上昇）各国の国債からの利息収入。

（上昇）ユーロが円に対して上昇したこと。

○投資環境

債券市場＜国債利回りは米国、ドイツでほぼ横ばい＞

米国市場では、FRB（米連邦準備制度理事会）が12月、3月、6月にそれぞれ政策金利の引き上げを行なったものの、CPI（消費者物価指数）が伸び悩んだことや、トランプ大統領の税制改革などの政策に対する不透明感が高まったことから、債券利回りは期を通じてみるとほぼ横ばいとなりました。

ユーロ圏では、ECB（欧州中央銀行）定例理事会の議事要旨やドラギ総裁の発言を受けて金融緩和縮小期待が高まったものの、緩和縮小ペースが緩やかになるとの観測が高まるにつれて利回りは低下し、期を通じてみるとほぼ横ばいとなりました。

為替市場＜円に対して米ドル、ユーロは上昇＞

期初には、トランプ氏の政策に対する期待から市場のリスク選好の動きが強まり、米ドルは円に対して上昇しました（円安）。その後は地政学的リスクや米国における政局の混乱等からリスク回避的な姿勢が強まり、安全資産としての円が上昇する場面もありましたが、市場のリスク回避的な姿勢が沈静化したことを受けて、期を通じてみると米ドルは円に対して上昇しました。

欧州で政治リスクが懸念されたことで、ユーロは一時円に対して下落（円高）しましたが、金融緩和縮小が意識されたことや、好調な経済指標が発表されたことを背景に、ユーロは円に対して上昇しました。

○当ファンドのポートフォリオ

【野村外国債券アクティブファンド（確定拠出年金向け）】

当ファンドは、日本を除く世界の高格付け債券（高格付債券）を実質的な主要投資対象とし、海外アクティブ債券マザーファンド受益証券への投資を行ないました。期首から海外アクティブ債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、期中これを維持しました。

【海外アクティブ債券マザーファンド】

＜ファンド・デュレーション＞

ファンド全体のデュレーションは、期首から期末にかけて短期化しました。期末において、ファンド全体のデュレーションはベンチマークに対して短めとしました。

＜通貨配分＞

ファンド全体での外貨エクスポージャー※は概ね99%以上を維持しました。期末において、外貨エクスポージャーの内訳は、ベンチマークに比べ欧州通貨の比率を少なめ、米ドルの比率を多めとしました。

※外貨エクスポージャーとは、外貨建て純資産のうち為替ヘッジを行なわなかった額の純資産に対する比率

○当ファンドのベンチマークとの差異

期首から期末の基準価額の騰落率（分配金込み）は10.9%となり、ベンチマークの10.6%を0.3ポイント上回りました。

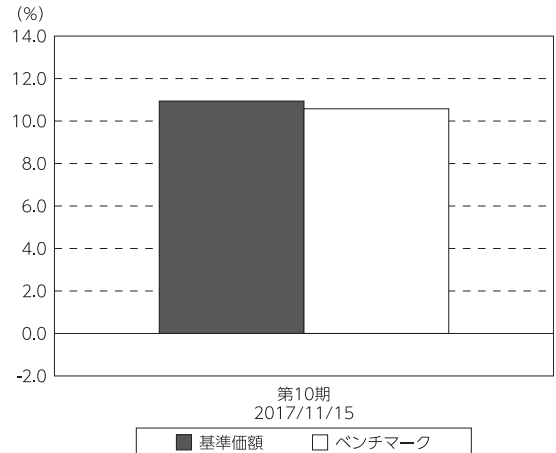
（主なプラス要因）

金利の上昇局面でファンドのデュレーション（金利感応度）をベンチマークに比べて短期化していたこと。

（主なマイナス要因）

欧州通貨が米ドルに対して上昇する局面で、米ドルの比率を多め、欧州通貨を少なめとしていたこと。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）です。

◎分配金

当期の収益分配金は、基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から次表の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第10期
	2016年11月16日～ 2017年11月15日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.077%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,501

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

〔野村外国債券アクティブファンド（確定拠出年金向け）〕

当ファンドは、高格付債券を実質的な主要投資対象とし、〔海外アクティブ債券マザーファンド〕 受益証券を高位に組み入れる方針です。

〔海外アクティブ債券マザーファンド〕

引き続き信託財産の成長を目標として積極的な運用を行ないます。債券への投資にあたっては、主として信用力の高い世界の主要国の国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行ないます。国別配分・通貨配分、デュレーションの水準等については、投資対象国・地域等のファンダメンタルズ分析や市場分析等に基づいて決定します。

米国について、景気回復が継続し、FRBが継続的な金融引き締めを行なうと想定していることから、債券利回りは上昇圧力がかかりやすいと予想します。欧州では、緩やかな景気回復が継続することを予想し、ECBIによる金融緩和姿勢が後退していくことを見込んでいることから、債券利回りには上昇圧力がかかると予想します。

ファンド全体のデュレーションはベンチマーク対比で、全体は短期化とし、地域別では米国と欧州圏を短めとします。為替エクスポージャーは、ベンチマークに比べ欧州通貨の比率を引き下げ、米ドルの比率を引き上げる方針です。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年11月16日～2017年11月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 87	% 0.702	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(54)	(0.432)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(27)	(0.216)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(7)	(0.054)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.003	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(0)	(0.003)	
(c) そ の 他 費 用	2	0.018	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	89	0.723	
期中の平均基準価額は、12,408円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年11月16日～2017年11月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
海外アクティブ債券マザーファンド	54, 571	102, 090	36, 092	67, 535

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2016年11月16日～2017年11月15日)

利害関係人との取引状況

<野村外国債券アクティブファンド（確定拠出年金向け）>

該当事項はございません。

<海外アクティブ債券マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	158, 676	677	0. 4	159, 705	332	0. 2
為替直物取引	10, 605	407	3. 8	10, 495	868	8. 3

平均保有割合 2. 1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年11月15日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
海外アクティブ債券マザーファンド	237, 985	256, 463	502, 387

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2017年11月15日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
海外アクティブ債券マザーファンド	千円 502,387	% 99.3
コール・ローン等、その他	3,779	0.7
投資信託財産総額	506,166	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*海外アクティブ債券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（22,858,242千円）の投資信託財産総額（23,893,917千円）に対する比率は95.7%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル＝113.48円、1カナダドル＝89.02円、1英ポンド＝149.32円、1スウェーデンクローナ＝13.51円、1ノルウェークローネ＝13.86円、1ユーロ＝133.83円、1ズロチ＝31.50円、1シンガポールドル＝83.46円、1豪ドル＝86.12円、1メキシコペソ＝5.92円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2017年11月15日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	506,166,853
コール・ローン等	3,349,581
海外アクティブ債券マザーファンド(評価額)	502,387,272
未収入金	430,000
(B) 負債	3,448,091
未払収益分配金	389,441
未払解約金	1,356,083
未払信託報酬	1,697,410
未払利息	4
その他未払費用	5,153
(C) 純資産総額(A－B)	502,718,762
元本	389,441,247
次期繰越損益金	113,277,515
(D) 受益権総口数	389,441,247口
1万口当たり基準価額(C／D)	12,909円

(注) 期首元本額は358,659,725円、期中追加設定元本額は118,130,177円、期中一部解約元本額は87,348,655円、1口当たり純資産額は1.2909円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額6,879,055円。(海外アクティブ債券マザーファンド)

○損益の状況（2016年11月16日～2017年11月15日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 374
支払利息	△ 374
(B) 有価証券売買損益	45,034,249
売買益	50,599,710
売買損	△ 5,565,461
(C) 信託報酬等	△ 3,318,853
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	41,715,022
(E) 前期繰越損益金	12,809,450
(F) 追加信託差損益金	59,142,484
(配当等相当額)	(137,322,545)
(売買損益相当額)	(△ 78,180,061)
(G) 計(D＋E＋F)	113,666,956
(H) 収益分配金	△ 389,441
次期繰越損益金(G＋H)	113,277,515
追加信託差損益金	59,142,484
(配当等相当額)	(137,632,493)
(売買損益相当額)	(△ 78,490,009)
分配準備積立金	76,619,700
繰越損益金	△ 22,484,669

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）分配金の計算過程（2016年11月16日～2017年11月15日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2016年11月16日～ 2017年11月15日
a. 配当等収益(経費控除後)	11,329,383円
b. 有価証券売却等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	137,632,493円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	65,679,758円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	214,641,634円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	5,511円
g. 分配金	389,441円
h. 分配金(1万口当たり)	10円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	10円
----------------	-----

○お知らせ

- ①スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。
 ＜変更適用日：2017年3月31日＞
- ②外国為替予約取引に係る担保授受に関する規定を追加する所要の約款変更を行いました。
 ＜変更適用日：2017年3月31日＞
- ③金利先渡し取引および為替先渡し取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。
 ＜変更適用日：2017年3月31日＞
- ④先物取引等の運用指図において店頭デリバティブ取引または店頭オプション取引に係る評価の方法および担保授受の指図が行われる場合の規定を追加する所要の約款変更を行いました。
 ＜変更適用日：2017年3月31日＞
- ⑤直物為替先渡し取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。
 ＜変更適用日：2017年3月31日＞

海外アクティブ債券マザーファンド

運用報告書

第14期（決算日2017年11月15日）

作成対象期間（2016年11月16日～2017年11月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	日本を除く世界の高格付けの債券に投資し、信託財産の成長を目標として積極的な運用を行います。債券への投資にあたっては、ソブリン債（日本を除く世界先進主要国が発行する国債・政府保証債）を中心とした債券に投資することを基本とします。 投資する債券の格付けは、AA格相当以上を中心にBBB格相当までとします。 ポートフォリオのデュレーションは、日本を除く世界先進主要国国債市場全体のデュレーション±40%程度以内に維持することを基本とします。 組み入れ外貨建て資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	日本を除く世界の高格付けの債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。株式への投資は、転換社債を転換および新株予約権を行使したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の30%以内とします。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12- 1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		ベンチマーク		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
10期(2013年11月15日)	15,968	27.0	150.74	28.4	95.7	4.5	8,957
11期(2014年11月17日)	19,421	21.6	180.26	19.6	95.3	△9.1	12,167
12期(2015年11月16日)	19,632	1.1	179.60	△0.4	86.1	△5.4	21,220
13期(2016年11月15日)	17,532	△10.7	159.55	△11.2	87.8	△2.3	22,019
14期(2017年11月15日)	19,589	11.7	178.61	11.9	94.3	△2.7	23,707

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*ベンチマーク（＝シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円換算ベース））は、基準価額への反映を考慮して、営業日前日のシティ世界国債インデックス（除く日本）の各国別指数（現地通貨ベース）の指数値を、営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で、当社が独自に円換算しています。

*シティ世界国債インデックス（除く日本）は、Citigroup Index LLCが開発した日本を除く世界先進主要国国債市場全体のパフォーマンスを表す代表的な指数の一つで、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。なお、当ファンドでは、シティ世界国債インデックス（除く日本）の各国別指数（現地通貨ベース）を用い、野村アセットマネジメントが独自に円換算した指数を用います。

(出所) Citigroup Index LLC

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	ベンチマーク	債券比率	債先物比率		
					騰 落 率	騰 落 率
(期 首)	円	%	%	%		
2016年11月15日	17,532	—	159.55	—	87.8	△ 2.3
11月末	18,234	4.0	165.84	3.9	88.6	△ 2.3
12月末	18,845	7.5	171.09	7.2	83.6	△ 1.8
2017年1月末	18,379	4.8	166.97	4.6	84.9	△ 2.0
2月末	18,250	4.1	166.10	4.1	82.7	△ 1.9
3月末	18,277	4.2	166.14	4.1	84.3	△ 1.9
4月末	18,373	4.8	167.15	4.8	91.1	△ 2.0
5月末	18,614	6.2	169.65	6.3	90.0	△ 2.2
6月末	18,979	8.3	172.84	8.3	90.4	△ 2.4
7月末	18,956	8.1	172.76	8.3	90.8	△ 2.7
8月末	19,192	9.5	175.23	9.8	89.0	△ 4.0
9月末	19,439	10.9	177.20	11.1	88.6	△12.5
10月末	19,458	11.0	177.23	11.1	91.9	△ 1.0
(期 末)						
2017年11月15日	19,589	11.7	178.61	11.9	94.3	△ 2.7

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) ベンチマークは、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の17,532円から期末には19,589円となり、2,057円の値上がりとなりました。

(上昇) 各国の国債からの利息収入。

(上昇) ユーロが円に対して上昇したこと。

○当ファンドのポートフォリオ

・ファンド・デュレーション

ファンド全体のデュレーションは、期首から期末にかけて短期化しました。期末において、ファンド全体のデュレーションはベンチマークに対して短めとしました。

・通貨配分

ファンド全体での外貨エクスポージャー※は概ね99%以上を維持しました。期末において、外貨エクスポージャーの内訳は、ベンチマークに比べ欧州通貨の比率を少なめ、米ドルの比率を多めとしました。

※外貨エクスポージャーとは、外貨建て純資産のうち為替ヘッジを行なわなかった額の純資産に対する比率

○当ファンドのベンチマークとの差異

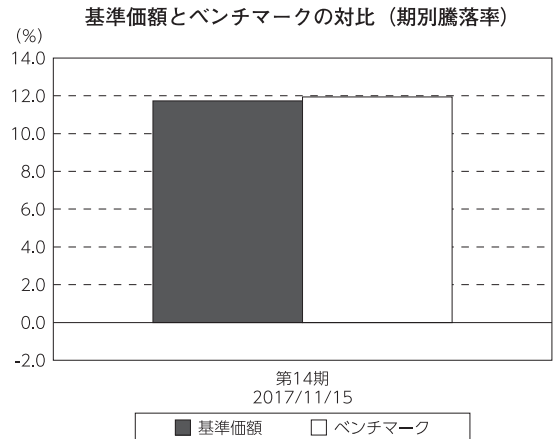
期首から期末の基準価額の騰落率は11.7%となり、ベンチマークの11.9%を0.2ポイント下回りました。

(主なプラス要因)

金利の上昇局面でファンドのデュレーション(金利感応度)をベンチマークに比べて短期化していたこと。

(主なマイナス要因)

欧州通貨が米ドルに対して上昇する局面で、米ドルの比率を多め、欧州通貨を少なめとしていたこと。



(注) ベンチマークは、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

引き続き信託財産の成長を目標として積極的な運用を行ないます。債券への投資にあたっては、主として信用力の高い世界の主要国の国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行ないます。国別配分・通貨配分、デュレーションの水準等については、投資対象国・地域等のファンダメンタルズ分析や市場分析等に基づいて決定します。

米国について、景気回復が継続し、FRB（米連邦準備制度理事会）が継続的な金融引き締めを行なうと想定していることから、債券利回りは上昇圧力がかけやすいと予想します。欧州では、緩やかな景気回復が継続することを予想し、ECB（欧州中央銀行）による金融緩和姿勢が後退していくことを見込んでいることから、債券利回りには上昇圧力がかけると予想します。

ファンド全体のデュレーションはベンチマーク対比で、全体は短期化とし、地域別では米国と欧州圏を短めとします。為替エクスポージャーは、ベンチマークに比べ欧州通貨の比率を引き下げ、米ドルの比率を引き上げる方針です。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年11月16日～2017年11月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	円 1 (1)	% 0.003 (0.003)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	3 (3) (0)	0.016 (0.016) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	4	0.019	
期中の平均基準価額は、18,749円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年11月16日～2017年11月15日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 61,690	千米ドル 73,113
	カナダ	国債証券	千カナダドル 7,282	千カナダドル —
	イギリス	国債証券	千英ポンド 5,011	千英ポンド 8,455
	スウェーデン	国債証券	千スウェーデンクローナ 35,877	千スウェーデンクローナ 50,372
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	20,328	13,141
	イタリア	国債証券	35,830	15,897 (2,720)
	フランス	国債証券	3,972	11,428
	スペイン	国債証券	2,434	5,875
	ベルギー	国債証券	456	—
	ポーランド	国債証券	千ズロチ 34,293	千ズロチ 22,622 (1,000)
	シンガポール	国債証券	千シンガポールドル 3,591	千シンガポールドル —
	オーストラリア	国債証券	千豪ドル 2,793	千豪ドル —
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 68,022	千メキシコペソ 143,026

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

* () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	債券先物取引	百万円 13,973	百万円 10,217	百万円 14,025	百万円 10,415

*単位未満は切り捨て。

*外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2016年11月16日～2017年11月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 158,676	百万円 677	% 0.4	百万円 159,705	百万円 332	% 0.2
為替直物取引	10,605	407	3.8	10,495	868	8.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年11月15日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	額面金額	当 期		未		残存期間別組入比率		
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	5年以上	2年以上	2年未満
		外貨建金額	邦貨換算金額					
アメリカ	千米ドル 39,100	千米ドル 40,978	千円 4,650,261	% 19.6	% —	% 15.3	% 1.9	% 2.4
カナダ	千カナダドル 8,400	千カナダドル 8,210	730,871	3.1	—	1.7	1.4	—
イギリス	千英ポンド 4,200	千英ポンド 6,373	951,699	4.0	—	4.0	—	—
ノルウェー	千ノルウェークローネ 1,000	千ノルウェークローネ 1,099	15,236	0.1	—	—	0.1	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	13,200	15,835	2,119,309	8.9	—	5.6	2.9	0.5
イタリア	45,000	50,518	6,760,858	28.5	—	5.7	9.5	13.3
フランス	13,500	16,494	2,207,525	9.3	—	7.0	2.3	—
スペイン	19,300	21,146	2,830,079	11.9	—	—	4.5	7.5
ベルギー	3,000	3,678	492,301	2.1	—	2.1	—	—
ポーランド	千ズロチ 25,000	千ズロチ 26,689	840,703	3.5	—	—	1.5	2.1
シンガポール	千シンガポールドル 3,500	千シンガポールドル 3,570	297,952	1.3	—	—	1.3	—
オーストラリア	千豪ドル 5,300	千豪ドル 5,418	466,620	2.0	—	0.8	1.2	—
合 計	—	—	22,363,419	94.3	—	42.1	26.4	25.8

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
			%	千米ドル	千米ドル	千円	
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	2.25	3,000	3,036	344,562	2021/3/31
		US TREASURY N/B	1.75	1,000	989	112,265	2022/3/31
		US TREASURY N/B	2.5	11,500	11,687	1,326,328	2024/5/15
		US TREASURY N/B	2.0	3,000	2,934	333,019	2025/8/15
		US TREASURY N/B	2.25	2,800	2,784	316,031	2025/11/15
		US TREASURY N/B	2.0	2,500	2,424	275,122	2026/11/15
		US TREASURY N/B	5.0	2,500	3,409	386,962	2037/5/15
		US TREASURY N/B	3.625	4,300	4,946	561,272	2043/8/15
		US TREASURY N/B	3.625	1,000	1,152	130,741	2044/2/15
		US TREASURY N/B	3.0	2,500	2,585	293,385	2044/11/15
小 計						4,650,261	
カナダ	国債証券	CANADIAN GOVERNMENT	1.5	1,000	1,000	89,060	2020/3/1
		CANADIAN GOVERNMENT	0.5	2,900	2,764	246,060	2022/3/1
		CANADIAN GOVERNMENT	1.5	4,500	4,445	395,750	2023/6/1
		小 計					
イギリス	国債証券	UK TREASURY	4.25	800	1,105	165,064	2036/3/7
		UK TREASURY	4.75	700	1,053	157,256	2038/12/7
		UK TREASURY	4.25	900	1,370	204,713	2046/12/7
		UK TREASURY	4.25	1,800	2,844	424,666	2049/12/7
		小 計					
ノルウェー				千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ		
	国債証券	NORWEGIAN GOVERNMENT	3.75	1,000	1,099	15,236	2021/5/25
小 計						15,236	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	BUNDES OBLIGATION	—	5,000	5,093	681,596	2022/4/8
		BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	3.5	800	856	114,634	2019/7/4
		BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	2.0	500	563	75,468	2023/8/15
		BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	0.25	1,000	994	133,044	2027/2/15
		BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	6.5	1,000	1,587	212,456	2027/7/4
		BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	5.625	1,000	1,522	203,701	2028/1/4
		BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	5.5	500	805	107,811	2031/1/4
		BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	2.5	3,400	4,413	590,596	2044/7/4
		イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	3.5	3,000	3,120
BUONI POLIENNALI DEL TES	4.25			3,300	3,482	466,048	2019/2/1
BUONI POLIENNALI DEL TES	0.1			6,500	6,536	874,757	2019/4/15
BUONI POLIENNALI DEL TES	4.25			9,700	10,481	1,402,781	2019/9/1
BUONI POLIENNALI DEL TES	4.5			9,000	9,930	1,329,012	2020/2/1
BUONI POLIENNALI DEL TES	4.25			1,000	1,100	147,333	2020/3/1
BUONI POLIENNALI DEL TES	3.75			700	786	105,231	2021/5/1
BUONI POLIENNALI DEL TES	5.5			4,000	4,946	662,030	2022/11/1
BUONI POLIENNALI DEL TES	5.0			3,300	4,147	555,028	2025/3/1
BUONI POLIENNALI DEL TES	6.0			1,000	1,443	193,116	2031/5/1

銘柄			当期末					
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
					外貨建金額	邦貨換算金額		
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	5.75	1,300	1,868	250,094	2033/ 2 / 1	
		BUONI POLIENNALI DEL TES	4.0	2,200	2,673	357,757	2037/ 2 / 1	
フランス	国債証券	FRANCE (GOVT OF)	2.25	3,000	3,430	459,043	2024/ 5 /25	
		FRANCE (GOVT OF)	0.5	700	713	95,552	2025/ 5 /25	
		FRANCE (GOVT OF)	1.0	2,000	2,075	277,736	2027/ 5 /25	
		FRANCE GOVERNMENT O. A. T	2.5	3,700	4,031	539,513	2020/10/25	
		FRANCE GOVERNMENT O. A. T	8.5	1,300	1,908	255,383	2023/ 4 /25	
		FRANCE GOVERNMENT O. A. T	5.5	1,800	2,736	366,243	2029/ 4 /25	
		FRANCE GOVERNMENT O. A. T	4.5	1,000	1,599	214,052	2041/ 4 /25	
		スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	0.25	9,000	9,027	1,208,083
BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	4.6	3,900		4,230	566,106	2019/ 7 /30		
BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	5.5	1,000		1,190	159,350	2021/ 4 /30		
BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	5.85	5,400		6,699	896,538	2022/ 1 /31		
ベルギー	国債証券	BELGIUM KINGDOM	2.6	2,500	2,915	390,114	2024/ 6 /22	
		BELGIUM KINGDOM	3.75	300	442	59,219	2045/ 6 /22	
		BELGIUM KINGDOM GOVT	5.0	200	321	42,968	2035/ 3 /28	
小計						14,410,073		
ポーランド				千ズロチ	千ズロチ			
		国債証券	POLAND GOVERNMENT BOND	3.25	15,000	15,447	486,580	2019/ 7 /25
		POLAND GOVERNMENT BOND	5.75	10,000	11,242	354,123	2021/10/25	
小計						840,703		
シンガポール				千シンガポールドル	千シンガポールドル			
		国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT	2.25	3,500	3,570	297,952	2021/ 6 / 1
小計						297,952		
オーストラリア				千豪ドル	千豪ドル			
		国債証券	AUSTRALIAN GOVERNMENT	4.5	500	530	45,686	2020/ 4 /15
		AUSTRALIAN GOVERNMENT	2.0	2,800	2,786	239,936	2021/12/21	
		AUSTRALIAN GOVERNMENT	3.25	2,000	2,101	180,998	2025/ 4 /21	
小計						466,620		
合計						22,363,419		

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

先物取引の銘柄別期末残高

銘 柄 別			当 期	末
			買 建 額	売 建 額
外 国	債券先物取引		百万円	百万円
		TNOTE (2YEAR)	3,050	—
		TNOTE (5YEAR)	663	—
		BOBL	—	528
		BUNDS	—	325
		GILTS	316	—
		SCHATZ	—	3,380
		TNOTE (10YEAR)	—	566
		T-ULTRA	56	—
		ULTRA (10YEAR)	75	—

* 単位未満は切り捨て。

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2017年11月15日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	22,363,419	93.6
コール・ローン等、その他	1,530,498	6.4
投資信託財産総額	23,893,917	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建て純資産（22,858,242千円）の投資信託財産総額（23,893,917千円）に対する比率は95.7%です。

* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル＝113.48円、1カナダドル＝89.02円、1英ポンド＝149.32円、1スウェーデンクローナ＝13.51円、1ノルウェークローネ＝13.86円、1ユーロ＝133.83円、1ズロチ＝31.50円、1シンガポールドル＝83.46円、1豪ドル＝86.12円、1メキシコペソ＝5.92円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年11月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	41,137,154,639
コール・ローン等	1,081,166,700
公社債(評価額)	22,363,419,066
未収入金	17,358,912,764
未収利息	186,912,176
前払費用	31,406,687
差入委託証拠金	115,337,246
(B) 負債	17,429,746,594
未払金	17,388,415,503
未払解約金	41,330,000
未払利息	1,091
(C) 純資産総額(A－B)	23,707,408,045
元本	12,102,241,302
次期繰越損益金	11,605,166,743
(D) 受益権総口数	12,102,241,302口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,589円

(注) 期首元本額は12,559,699,258円、期中追加設定元本額は3,316,916,404円、期中一部解約元本額は3,774,374,360円、1口当たり純資産額は1.9589円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

- ・野村外国債券アクティブファンドAコース(野村SMA向け) 3,255,734,734円
- ・野村外国債券アクティブファンド Aコース(野村SMA・EW向け) 2,273,560,299円
- ・外国債券アクティブファンド 為替ヘッジ付・分配型(非課税適格機関投資家専用) 2,062,743,192円
- ・野村外国債券アクティブファンド Bコース(野村SMA・EW向け) 1,455,048,877円
- ・野村外国債券アクティブファンドBコース(野村SMA向け) 1,209,225,725円
- ・ノムラPOFs用・海外アクティブ債券ファンド(適格機関投資家専用) 1,050,584,010円
- ・ハイブリッド・インカムオープン 538,880,494円
- ・野村外国債券アクティブファンド(確定拠出年金向け) 256,463,971円

○損益の状況 (2016年11月16日～2017年11月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	617,264,499
受取利息	618,889,362
その他収益金	53,042
支払利息	△ 1,677,905
(B) 有価証券売買損益	1,967,650,582
売買益	4,267,698,813
売買損	△ 2,300,048,231
(C) 先物取引等取引損益	△ 18,243,839
取引益	33,033,093
取引損	△ 51,276,932
(D) 保管費用等	△ 3,661,802
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	2,563,009,440
(F) 前期繰越損益金	9,459,955,347
(G) 追加信託差損益金	2,902,112,596
(H) 解約差損益金	△ 3,319,910,640
(I) 計(E+F+G+H)	11,605,166,743
次期繰越損益金(I)	11,605,166,743

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

- ①スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。
＜変更適用日：2017年3月31日＞

- ②外国為替予約取引に係る担保授受に関する規定を追加する所要の約款変更を行いました。
＜変更適用日：2017年3月31日＞

- ③金利先渡し取引および為替先渡し取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。
＜変更適用日：2017年3月31日＞

- ④先物取引等の運用指図において店頭デリバティブ取引または店頭オプション取引に係る評価の方法および担保授受の指図が行われる場合の規定を追加する所要の約款変更を行いました。
＜変更適用日：2017年3月31日＞

- ⑤直物為替先渡し取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。
＜変更適用日：2017年3月31日＞